

SSKP 船橋障害者自立生活センター

2013年9月

うえいぶニュース

72

〒273-0005 船橋市本町2-4-4 花島ビル1F TEL：047-432-4554 / FAX：047-432-4565
URL：http://www.cil-funabashi.org/ E-Mail：cil-funabashi@cil-funabashi.org

2013年度定期総会のご報告

去る5月17日、船橋市中央公民館第7集会室で2013年度の定期総会が開かれました。

当日は17名の出席があり、事前に委任状を提出していた25人と合わせて、正会員の過半数を越えていることが報告されて、総会の成立となりました。

川嶋徳人理事を議長に選任して議事に入りました。2012年度の事業報告及び決算報告そして監査報告が、基本的に原案通り承認されました。続いて2013年度の事業計画と予算書の議論が行われ、本年度から新しく相談支援事業を始めることなどが提案されて、承認されました。

議論の中では、厳しい財政状態が話の中心になり、収支の健全化や事業のあり方をめぐっていくつかの意見が出されました。また、収支計算書とその他の会計資料の間のずれを指摘する意見などもあり、今後の検討課題となりました。

いずれにしても財政上だけではなく、活動全体の上でも厳しい状況が続きますが、引き続きご支援とご鞭撻をお願い致します。会員の方には既にお送りしてありますが、改めて議案書を掲載しますので、ご参照の上ご意見をお寄せいただければありがたく思います。

(法第28条第1項)

2012年度特定非営利活動に係る事業報告書

特定非営利活動法人船橋障害者自立生活センター

1. 事業の成果

- (1) 障害者の日常生活、社会参加および就労支援を目的として、障害者福祉作業所「WAVE」として運営した。
- (2) ピア・カウンセリングの集中、長期各講座及び県の助成を受けて「ピアサポーター養成講座」を開催するなど、自立に向けた取り組みに力を入れた。
- (3) 相談支援事業は、みなし事業所として一般相談支援を実施した。

2. 事業の実施に関する事項〈特定非営利活動〉

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
① ピア・カウンセリング事業 <5-(5)>	・障害当事者同士で行うカウンセリング事業 (集中講座、長期講座、ピアサポーター養成講座、個人ピアカウンセリング)	適宜	船橋市及びその近隣地域	1日 1～10名	船橋市近隣に居住している障害者	・講師謝礼 ・会場費 ・介助者介助料 303千円
② 啓発・広報活動事業費 <5-(8)>	・インターネットによる情報提供 ・機関紙の発行	適宜	船橋市及びその近隣地域	1日 1～20名	船橋市近隣に居住している障害者	・機関紙印刷代等 258千円
③ 相談支援事業 <5-(16)>	指定相談支援事業	常時	船橋市及びその近隣地域	1日 1～10名	船橋市近隣に居住している障害者及び、障害福祉に関心を持っている人々	・諸経費 249千円
④ 福祉作業所運営事業 (日中活動) <5-(12)>	一般雇用が困難な障害者に労働と社会参加の機会を作る。	常時	船橋市	5名	船橋市近隣に居住している障害者	(含む上記) 7,300千円

「支出額」には、人件費の他、施設維持費（水道光熱費等）・保険代・車両移動費・通信費（電話代・印刷費）等が加算される。

2012年度 特定非営利活動に係る活動計算書

2012年4月1日～2013年3月31日

特定非営利活動法人船橋障害者自立生活センター

(単位：円)

科 目	金 額	
I. 前期繰越額 ①		2,200,353
II. 収入の部		
1. 事業収入		
ピアカン事業収入	607,335	
情報発信事業収入	72,000	
福祉作業所運営事業収入	7,300,295	7,979,630
2. 会費・入会金収入	197,000	197,000
3. 寄付金収入	188,100	188,100
5. 雑収入	30,753	30,753
6. 受取利息	164	164
経常収入合計 ②		8,395,647
III. 支出の部		
1. 事業費		
啓発・広報活動事業費	141,300	
地域生活支援事業費	249,456	
ピアカン事業費	302,790	
情報発信事業費	116,377	
福祉作業所運営費	7,300,295	8,110,218
2. 管理費		
福利厚生費	10,592	
旅費交通費	35,013	
備品費	20,919	
消耗品費	4,608	
賃借料	192,500	
通信運搬費	116,784	
水道光熱費	50,927	
保険料	△1,674	
諸会費	68,600	
租税公課	1,400	
雑費	3,600	
支払手数料	11,330	
作業所委託費	44,600	559,199
経常支出合計 ③		8,669,417
経常収支差額 ④ (②-③)		-273,770
次期繰越額 ①+④		1,926,583

2012年度 特定非営利活動に係る貸借対照表

2013年 3月31日現在

特定非営利活動法人船橋障害者自立生活センター

(単位：円)

科 目	金 額	額
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金	47,817	
預金 千葉銀行（事務局）	450,329	
預金 京葉銀行（講習事業）	452,073	
未収入金	450,000	
流動資産計		1,400,219
2. 無形固定資産		
電話加入権	110,740	
無形固定資産計		110,740
3. 投資その他の資産		
出資金	315,000	
敷金	1,217,350	
長期貸付金	485,000	
長期前払費用	344,999	
分担金	489,377	
投資その他の資産計		2,851,726
資産合計		4,362,685
II. 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	189,377	
負債合計		189,377
III. 正味財産の部		
前期正味財産*1	2,200,353	
当期正味財産増減額*2	273,770	
正味財産計*3		1,926,583
負債及び正味財産合計		2,115,960

*1前期繰越額のこと

*2弥生決算書の損益計算書の経常損失金額

*3次期繰越額のこと *1-*2

2012年度 特定非営利活動に係る会計財産目録

2013年3月31日現在

特定非営利活動法人船橋障害者自立生活センター

(単位：円)

科 目	金	額
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金	47,817	
預金 千葉銀行（事務局）	450,329	
預金 京葉銀行（講習事業）	452,073	
未収入金	450,000	
流動資産計		1,400,219
2. 無形固定資産		
電話加入権	110,740	
無形固定資産計		110,740
3. 投資その他の資産		
出資金	315,000	
敷金	1,217,350	
長期貸付金	485,000	
長期前払費用	344,999	
分担金	489,377	
投資その他の資産計		2,851,726
資産合計		4,362,685
II. 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	189,377	
負債合計		189,377
財産合計		4,173,308

(法第10条第1項第7号)

2013年度特定非営利活動に係る事業計画書

特定非営利活動法人船橋障害者自立生活センター

1. 事業実施の方針

特定非営利活動法人 船橋障害者自立生活センターは、船橋市及びその近隣地域において、すべての障害者が自立した生活を営んでいくために事業や活動を行なう。その中心には相談支援、自立生活プログラム及びピア・カウンセリングの実施、障害者福祉作業所の運営、障害者交流、啓蒙活動、障害者問題の調査研究、生活基盤整備運動等の推進がある。

障害者福祉作業所の開所後は、経営資源のほとんどを作業所基盤づくりに割いてきたが、これからは次の展開を考える1年としたい。

2. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者の 予定人数	受益対象者の範囲 及び予定人数	支出 見込み額
ピア・カウンセリング事業 <5-(5)>	・障害という同じ背景を持つ者同士が対等な立場でサポートしあうことを学ぶ (公開講座、短期集中講座、長期講座、個人ピアカウンセリング)	適宜	船橋市及びその近隣地域	1日 1～20名	船橋市近隣に居住若しくは施設等に入居している障害者	・講師謝礼 ・会場費 介助者介助料200千円
福祉作業所運営事業 <5-(12)>	一般雇用が困難な障害者に労働と社会参加の機会を作る。	常時	船橋市	5～10名	船橋市及び近隣に居住している障害者	7,940千円
情報発信事業 <5-(8)>	機関紙を発行し、障害者福祉の情報を提供する。(1回：1000部発行、内750部発送)	年4回	船橋市	5～10名	船橋市及びその近隣地域 全国の会員ほか	150千円
啓発広報活動事業 <5-(10)>	2次障害に関する講演会を開催する。 於：中央公民館	11月	船橋市	10～15名	船橋市近隣に居住若しくは施設等に入居している障害者 障害福祉に関心を持っている人々	200千円
指定相談支援事業 <5-(16)>	どのような障害があっても地域生活が営めるように支援する	適宜	船橋市及びその近隣地域	10～15名	船橋市近隣に居住若しくは施設等に入居している障害者 障害福祉に関心を持っている人々	250千円

「支出見込み額」には、人件費の他、施設維持費（水道光熱費等）・保険代・通信費（電話代・印刷費）等が加算される。

2013年度 予算書

2013年4月1日～2014年3月31日

特定非営利活動法人船橋障害者自立生活センター

（単位：円）

科 目	金 額	
I. 前期繰越額 ①		1,926,583
II. 収入の部		
1. 事業収入		
ピアカン事業収入	200,000	
相談支援事業収入	100,000	
障害者生活研究事業収入	5,000	
福祉作業所運営事業収入	7,940,000	
啓発・広報活動事業収入	100,000	
情報発信事業収入	100,000	8,445,000
2. 会費・入会金収入	200,000	200,000
3. 寄付金収入	200,000	200,000
4. 補助金等収入	100,000	100,000
5. 雑収入	30,000	30,000
6. 受取利息	300	300
経常収入合計 ②		8,975,300
III. 支出の部		
1. 事業費		
啓発・広報活動事業費	200,000	
相談支援事業費	250,000	
ピアカン事業費	200,000	
情報発信事業費	150,000	
福祉作業所運営費	7,940,000	
障害者の生活に関する研究事業費	100,000	8,840,000
2. 管理費		
旅費交通費	100,000	
備品費	20,000	
消耗品費	10,000	
通信運搬費	50,000	
水道光熱費	35,000	
諸会費	70,000	
雑費	10,000	
支払手数料	10,000	
作業所委託金	50,000	
分担金	401,000	756,000
経常支出合計 ③		9,596,000
経常収支差額 ④ (②-③)		-620,700
次期繰越額 ①+④		1,305,883

代表のぼやき

～たらい回し～



この「ぼやき」ファンの編集子のリクエストもあって、もう一回だけ病院ネタを続けることにします。

とは言っても、今回は病院そのものというよりは、通院に必要な交通機関の話です。

私が寝ているときに呼吸が止まっているらしいという妻の証言を確かめるべく、いつも通っている総合病院に電話で問い合わせをしました。するとその病院では扱っていないということで、近所の開業医を紹介されました。その病気の検査ができるということが謳われているお医者さんです。

ところが、私と妻の話をたいして聞かない内に、それは脳の関係かもしれないので大病院の脳外科に紹介状を書きます、という話になりました。聴診器一つ当てる訳でもなく、私のことを怖がっているのか面倒臭がっているのかわかりませんが、体（てい）のいたらい回しの始まりです。

仕方なく、その大病院の脳外科を受診することにしたのですが、その病院に行くには路線バスを使うしかないので。

朝一番で駅のバス停に向かいました。すでに30人近い乗客がバスを待っていました。バス停には14分遅れの表示が出ていて、私は本来の時間からすれば一本前のバスに乗ることになったのです。同行のヘルパーに運転手さんに車イスで乗車したいということを伝えてもらいました。駅で降りる乗客が全員降車を終わってから運転手さんが降りてきたのですが、どうやら車イス用のスロープの扱い方をご存知ない様子なのです。どう見ても戸惑っている風情有りありなのです。ただでさえ時間が遅れているのに、余分な時間を私という乗客のためにこれ以上割くのも他のお客さんにも迷惑な話だと思い、スロープの出し方を教授して差し上げることにしました。バスの下の引き出しのような所を開いてスロープを引き出してセットする一連の動作を説明し、無事にバスに乗り込むことができました。

この会社のバスでは、私自身5年程前にスロープが備え付けられていること自体を運転手さんが知らないで、半ば強制的に次のバスまで待たされてしまったことがあります。今回のケースも似たような理由に感じられますが、全国にその名を轟かせた千葉県の差別禁止条例は言うに及ばず、国のレベルでも差別解消法が施行されようとしているにもかかわらず、世の中の旧態依然とする現実を見てしまった思いがしています。

病院に話を戻します。紹介状を携えて脳外科の窓口で待つこと1時間半、対応してくれた若いお医者さんは自分には無呼吸のことはあまりよくわからないし、どういう理由で脳外科に紹介状を書いたのかもわからないというようなことを言って、今度は同じ病院の耳鼻科に回されることになったのです。現在、その病院の耳鼻科に合計5回程通っていますが、無呼吸の状態が実際にあるということだけは判明したものの、それに至る原因や根本的な治療の方針は明らかになっていません。無呼吸という病気そのものがそういうものだと言われてしまうかもしれませんが、始めのたらい回しに象徴されるようによくわからないことは、とりあえず脳性マヒのせいにしておけばいいという、医療の世界全体のもやもやとした雰囲気を感じてしまうのです。確かに子どもの頃から風邪を引いて高熱を出しても脳の関係だから仕方がないという言い方をされたことも多くあり、我ながら因果な障害と思わずにはいられないのですが、障がい特性と個々の病気の関係をズバツと解明して、適切な治療をしてくれる医療機関はないものでしょうかねえ～。

2013年度 船橋障害者自立生活センター主催 ピア・カウンセリング長期講座のご案内

猛暑の毎日が続きますが、如何お過ごしでしょうか。

さて、今年も船橋障害者自立生活センターの主催により、下記の日程で「ピア・カウンセリング長期講座」を行うこととなりました。

ピア・カウンセリングは、病院でするカウンセリングとは違い、お互いが対等の時間を持ち合い、話す人、聞く人となって行われるものです。話をしたあとは心のもやもやがスッキリしました。聞いた後はなるほどと思わされました。障害を持つ者同士、悩み、気持ちを分かち合い、互いに話を聞きあう事を進めます。色々な人と知り合い、学びあう場にもなります。私って、こんなにうまくやってきたのね。素敵なのを持っていたわ。世界で一人だけのパワフルな自分を発見できるはず。たった一度の人生だから、今の気持ちを吐き出して、スッキリした気分で自分をとらえ直し、新しい自分を発見してみませんか。週一度通うのは精神的にも肉体的にも自分をコントロールするいいチャンスです。社会に向けてのチャレンジです。障害を持つ仲間同士が互いに助け合って、自己信頼を取り戻していくことを目的とします。障害を持っている人ならどなたでもかまいません。私達と一緒にピア・カウンセリングの良さ、大切さを体験しましょう。

開催要綱

☆日 時：9月27日（金）～12月20日（金）（毎週金曜日、全13回）

初回のみ13:00より受付開始 16:30終了

2回以降13:30～16:30

☆会 場：船橋市中央公民館または男女共同参画センター

*会場の変更がある場合は、お知らせします。

☆定 員：10名（応募多数の場合は、選考させていただきます）

☆参加費：無料

☆参加資格：障害を持っている方で、ピア・カウンセリング集中講座を受講した経験のある方

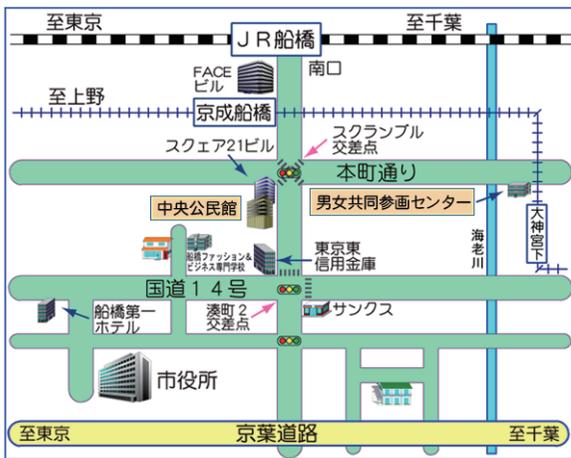
☆締め切り：2013年9月20日（金）

☆主 催：NPO法人船橋障害者自立生活センター

プログラム

回	月日	テーマ	会場
第1回	9月27日（金）	ピア・カウンセリングとは ピア・カウンセリングと自立生活センター （ピア・カウンセリングのことを知ろう）	男女共同参画センター 第1会議室
第2回	10月4日（金）	人間の本質・感情の解放 （人間ってもともといいもんだよね）	中央公民館体レク室
第3回	10月11日（金）	信頼すること （自分自身を認め信頼するためのワーク）	男女共同参画センター 研修室
第4回	10月18日（金）	障害について （自分の障害っていったい何だろう）	男女共同参画センター 研修室
第5回	10月25日（金）	パターンとコントラディクト （一度嫌な思いをするとまたなるような気がする）	中央公民館体レク室
第6回	11月1日（金）	サポートを得ること・あげること （あなたも誰かを助けることができるんだよ）	未定
第7回	11月8日（金）	カウンセラーであること・アプリケーション （仲間だったらカウンセリングもできるさ）	中央公民館体レク室
第8回	11月15日（金）	力について （みんな誰も生きていく力があるんだよね）	未定
第9回	11月22日（金）	抑圧 （知らないうちに抑えられている？）	未定
第10回	11月29日（金）	リーダーシップ （障害者のリーダーシップが大事なんだよ）	中央公民館体レク室
第11回	12月6日（金）	自己主張トレーニング （言いたいことが伝わらないとストレスたまるよね）	未定
第12回	12月13日（金）	私たちの権利 （知らないうちにやりたいことができなくなってるかも）	未定
第13回	12月20日（金）	自立生活プログラム （自立生活ってホントにできるんだよ）	未定

- ・ 講座の時間は全て午後1時30分から4時30分の予定です
- ・ 講座の日程は都合により変更する場合があります。ご了承下さい。



■ 船橋市中央公民館

〒273-0005 船橋市本町 2-2-5

TEL：047-434-5551 FAX：047-434-5554

交通

JR 船橋駅より徒歩約 7 分

京成船橋駅より徒歩約 5 分

■ 船橋市男女共同参画センター

(旧船橋市女性センター)

〒273-0003 船橋市宮本 2-1-4

TEL：047-423-0757 FAX：047-423-3007

交通

JR 船橋駅から徒歩約 12 分

京成大神宮下駅から徒歩約 5 分

新人さんいらっしゃい!

…… WAVE に新しく入ってきた利用者をご紹介します。

・ 名前は？

阿部正幸と申します。

・ 家族構成は？

両親と弟（就職、結婚して独立）の 4 人家族です。

・ 作業所で働くきっかけは？

以前は別の作業所にいたのですが、パソコンが好きだったので、パソコン関係の仕事ができる WAVE に移ってきました。

・ 今までの仕事の経験は？

中学時代から精神障害があったので、学校を卒業した後は、コンビニや食品工場でアルバイトしていました。しかしリーマンショック後、なかなか障害者を雇ってくれるアルバイトがなくなり、障害者手帳をとって作業所で働くことになりました。以前の作業所では主に和菓子の箱をつくったりしていました。

・ 趣味は？

アニメ鑑賞です。あと、アニメの原作になった漫画や小説を読むのが好きです。あと、パソコンで絵をかくたり、文章を作ったりするのが好きなので、WAVE に来てからは毎日楽しいですね（^^）

・ 作業所で働いた感想は？

職員さんも先輩方も暖かいひとが多く、しかもパソコンが好きだったり、音楽やアニメに詳しい人も多し、毎日楽しいですね！

・ 最後に一言

一緒に働く職員さんも先輩方もみんなやさしいし、好きな仕事できて幸せです。これからよろしくお願ひします。



WAVE のうごき

5月

1日(水)	モニタリング
8日(水)	フェイス相談日
14日(火)	ガイドヘルパー養成研修
16日(木)	障害福祉団体連絡協議会総会
18日(土)	理事会
20日(月)	船橋福祉相談協議会総会
25日(土)	ケア・ネット社員総会
27日(月)	職員会議
28日(火)	JIL 総会参加
30日(木)	自立支援協議会

6月

2日(日)	センター定期総会
6日(木)	相談支援モニタリング
7日(金)	障害者政策を聞く会
12日(水)	フェイス相談日
12日(水)	FAS-NET
21日(金)	事務作業日
24日(月)	職員会議
24日(月)	ランチミーティング

27日(木)	作業所運営委員会
27日(木)	fas-net 研修会

7月

3日(水)	市立特別支援学校訪問
5日(金)	県立特別支援学校法門
6日(土)	ピアカン集中講座
10日(水)	フェイス相談日
17日(水)	障害福祉団体連絡協議会
18日(木)	モニタリング
20日(土)	中核支援センター大会
23日(火)	認定審査会
25日(木)	事務作業日

8月

3日(土)	地域福祉連絡会
7日(水)	梨授受
8日(木)	モニタリング
8日(木)	地域意見交換会
14日(水)	フェイス相談日
14日(水)	相談支援事業所連絡会例会

会費納入のお願い

今年度の会費をまだお支払いいただけていない方、同封の振込用紙をご利用の上、お早めにご納入下さいませようお願いいたします。

年会費は、正会員が3,000円、賛助会員が5,000円、団体が10,000円となっております。

同封の振替用紙について

この機関紙には全員の方に郵便振替用紙を同封させていただきました。これは会費、介助料、カンパなどを送っていただく際に、便利なように同封したものです。

なお、納入状況など、ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

編集後記

船橋市の非公認ゆるキャラ「ふなっしー」の人気のものすごい。今や、東進の林先生と並んで、テレビで見ない日はないといってもいいくらいだ。「ゆるキャラ総選挙」で優勝するわ、24時間テレビに出るわ、スーパーニュースで安藤さんと共演するわ……。これに行政側が対抗しようと思ったのかどうか、公式キャラとして出してきたのが「船えもん」。なんじゃそりゃ。古くさーっ！ と思ったもんだ。しかしこの二人、というか二体、「いいとも」で共演するなど当人同士にはそれほど対抗意識はないらしい。煮え切らないのは行政側で、「絶対公認しないというわけではない」「市民の要望が多ければ検討することもある」だって。でもこうなったら「ふなっしー」側としたらどこまでも非公認を貫くってのもありじゃない？ そうして行政特有の面子とか変な意地みたいなものをおっぺしっちゃってほしいなっしーっ！ T2

カンパのお礼

前号以降、以下の皆様より温かいカンパをいただきました。

厚くお礼申し上げます。（順不同）

和田恭介様 田尾幸三様
 金山恵子様 佐久間良夫様
 竹本雅昭様 野積邦義様

発行所 東京都世田谷区砧6-26-21
 身体障害者定期刊行物協会
 頒価 100円

